



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト
コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村瀬 伸行

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3532-8826

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,336	3.7	291	△5.2	△8	—	130	—
28年3月期第3四半期	15,751	10.0	307	△45.0	31	△94.1	△178	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 52百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △172百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	9.62	9.19	—	—
28年3月期第3四半期	△12.98	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
29年3月期第3四半期	15,141	188.49	2,116	14.0	14.0	188.49	188.49	
28年3月期	14,763	211.57	2,886	19.5	19.5	211.57	211.57	

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,114百万円 28年3月期 2,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	22,000	4.7	400	—	100	—	100	—	7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	13,836,258 株	28年3月期	13,836,258 株
29年3月期3Q	2,616,801 株	28年3月期	198,801 株
29年3月期3Q	13,544,719 株	28年3月期3Q	13,785,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、次頁以降の添付資料をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、前期から引き続きプリントショップの「フォト&モア」店への転換及びモバイル店のキャリアショップの出店に注力しました。さらに、既存の卸売事業の経験とショップ事業のノウハウを活用した法人事業も体制を強化し、チャンネル開拓に取り組んでおります。

また、当社は、平成28年12月21日開催の取締役会において、Cimpres Investments B.V.（旧商号：Vistaprint Distribution B.V.、以下「CIBV」といいます。）との資本提携を解消することについて決議いたしました。当社は、平成25年11月21日にCIBVとの間で資本提携契約を締結し、これに伴い、平成26年2月28日、第三者割当による自己株式の処分（以下「本資本提携」といいます。）を行いました。このたび、業務提携をより密接にかつ確実に進めていくために行った本資本提携は、当初の目的を達成したと両社で判断したことから、当社は、当社が保有するシンプレスジャパン株式会社（以下「シンプレスジャパン」といいます。）の株式すべてをCIBVに譲渡し、CIBVが保有する当社株式2,400千株（発行済株式総数に対する割合：17.34%）を、自己株式として取得いたしました。なお、当社グループのプリント事業の製品・サービスの開発・製品供給等のシンプレスジャパンとの関係は、CIBVと構築してきた良好な関係を踏まえ事業の取引を継続しております。

このような中、プリント事業において、「フォト&モア」店のリニューアル後の運営力強化を図るとともに、オリジナルTシャツやトートバック、カレンダーなど高付加価値のある新たなサービスを開始いたしました。この結果、「フォト&モア」店の売上は、ほぼ前年並みでありましたが、既存店全体では、前年同期比95%で推移しました。なお、第3四半期最大の商機である年賀状プリントは、総受注枚数が3,148万枚となり、超早割とスピード仕上げの値上げ効果で売上高が既存店前年同期103%の実績となりました。

モバイル事業においては、店舗数増加に伴う販売台数の積み上げにより、ストック収益（継続手数料収入）も増加し順調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、163億36百万円（前年同期比3.7%増）となりました。利益面においては、営業利益2億91百万円（前年同期比5.2%減）、持分法適用関連会社の持分法による投資損失などにより経常損失8百万円（前年同期：経常利益31百万円）、株式売却益などにより親会社株主に帰属する四半期純利益1億30百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失1億78百万円）となりました。

セグメント別では、売上高76億5百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント損益は1億43百万円の損失（前年同期：5百万円の利益）となりました。

モバイル事業は、売上高87億20百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は1億37百万円（前年同期比305.3%増）となりました。

その他の事業は、売上高10百万円（前年同期比79.5%減）、セグメント損益は2百万円の損失（前年同期：7百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は151億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億77百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品、流動資産その他が増加し、株式の売却等により投資有価証券が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は130億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億47百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は21億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億69百万円の減少となりました。主な要因は、自己株式の取得による増加7億54百万円、株式の売却によるその他有価証券評価差額金の減少78百万円及び配当金の支払額68百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億30百万円などにより利益剰余金が62百万円増加したことなどによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の19.5%から14.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表しました通期の連結業績予想数値に修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,402	1,881,618
受取手形及び売掛金	1,577,538	1,758,004
商品及び製品	1,542,861	1,816,017
原材料及び貯蔵品	238,745	239,949
その他	711,727	2,160,668
流動資産合計	6,267,275	7,856,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,478,380	2,441,688
減価償却累計額	△1,076,193	△933,271
建物及び構築物（純額）	1,402,186	1,508,417
機械装置及び運搬具	3,406,025	3,077,223
減価償却累計額	△3,155,851	△2,796,674
機械装置及び運搬具（純額）	250,174	280,548
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	835,471	1,175,054
減価償却累計額	△168,351	△322,398
リース資産（純額）	667,120	852,655
その他	1,547,481	1,388,478
減価償却累計額	△990,025	△845,445
その他（純額）	557,456	543,032
有形固定資産合計	4,388,186	4,695,903
無形固定資産		
のれん	211,054	174,550
リース資産	159,251	131,448
その他	233,798	234,242
無形固定資産合計	604,104	540,241
投資その他の資産		
投資有価証券	1,495,462	75,792
敷金及び保証金	1,913,369	1,870,528
その他	101,279	110,776
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	3,497,822	2,044,807
固定資産合計	8,490,113	7,280,952
繰延資産		
社債発行費	6,216	4,176
繰延資産合計	6,216	4,176
資産合計	14,763,605	15,141,386

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,120,199	1,438,920
短期借入金	3,146,748	4,096,372
1年内償還予定の社債	130,000	110,000
リース債務	234,785	290,844
未払法人税等	18,148	13,877
賞与引当金	128,191	71,350
その他	1,217,888	1,375,216
流動負債合計	5,995,962	7,396,582
固定負債		
社債	190,000	135,000
長期借入金	4,412,887	4,154,933
リース債務	726,351	843,874
退職給付に係る負債	113,156	104,304
長期預り保証金	260,390	248,167
その他	178,558	142,079
固定負債合計	5,881,343	5,628,358
負債合計	11,877,306	13,024,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,187,511	1,187,511
利益剰余金	1,563,886	1,626,044
自己株式	△63,145	△817,563
株主資本合計	2,788,253	2,095,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,971	18,708
その他の包括利益累計額合計	96,971	18,708
新株予約権	1,074	1,744
純資産合計	2,886,299	2,116,445
負債純資産合計	14,763,605	15,141,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	15,751,128	16,336,998
売上原価	8,852,223	9,694,265
売上総利益	6,898,905	6,642,733
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	941,071	626,072
給料手当及び賞与	1,361,984	1,463,119
賞与引当金繰入額	64,554	69,902
雑給	1,075,402	1,101,556
賃借料	989,770	1,031,815
のれん償却額	17,493	37,004
その他	2,140,905	2,021,586
販売費及び一般管理費合計	6,591,183	6,351,056
営業利益	307,722	291,676
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,952	3,789
協賛金収入	15,634	29,074
その他	42,133	26,158
営業外収益合計	59,720	59,021
営業外費用		
支払利息	48,397	51,349
持分法による投資損失	267,310	284,715
その他	20,284	22,731
営業外費用合計	335,991	358,797
経常利益又は経常損失(△)	31,451	△8,098
特別利益		
固定資産売却益	11,944	24,891
投資有価証券売却益	—	120,307
関係会社株式売却益	—	11,598
受取補償金	2,353	54,084
特別利益合計	14,297	210,882
特別損失		
減損損失	204,436	48,755
店舗閉鎖損失	2,815	7,360
特別損失合計	207,251	56,116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161,502	146,667
法人税、住民税及び事業税	14,651	13,877
法人税等調整額	2,726	2,445
法人税等合計	17,377	16,322
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,880	130,344
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,880	130,344

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,880	130,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,659	△78,263
その他の包括利益合計	6,659	△78,263
四半期包括利益	△172,221	52,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172,221	52,081
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,993,056	7,705,404	15,698,461	52,667	15,751,128		15,751,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,865	—	60,865	—	60,865	△60,865	—
計	8,053,922	7,705,404	15,759,326	52,667	15,811,993	△60,865	15,751,128
セグメント利益又は損 失(△)	5,206	33,865	39,072	△7,621	31,451	—	31,451

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において193,765千円、「モバイル事業」において9,065千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,605,785	8,720,397	16,326,183	10,815	16,336,998		16,336,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77,863	—	77,863	—	77,863	△77,863	—
計	7,683,648	8,720,397	16,404,046	10,815	16,414,862	△77,863	16,336,998
セグメント利益又は損 失(△)	△143,144	137,242	△5,902	△2,196	△8,098	—	△8,098

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において41,496千円、「モバイル事業」において7,142千円であります。

(重要な後発事象)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、平成29年2月1日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による自己株式の処分(以下、「本自己株式処分」といいます。)を行うことについて決議いたしました。

1. 本自己株式処分の概要

処分方法 : 第三者割当による処分
処分株式数 : 1,350,000株
処分価額 : 1株につき318円
処分価額の総額 : 429,300千円
処分期日 : 平成29年2月20日
処分予定先 : ソフトバンク株式会社

2. 処分の目的及び理由

当社は、当社グループの成長事業であるモバイル事業において、電気通信サービスの加入取次ぎに関する販売代理店契約(以下「販売代理店契約」という。)を締結し、キャリアショップの事業で協業しているソフトバンク株式会社と同事業を推しすすめるため付加価値のある店舗(従来のモバイルショップにプリントサービスにも対応した複合型モバイルショップ)の出店の拡大に向けた新店設備の資金需要を踏まえ、ソフトバンク株式会社を割当先とした本自己株式処分を行うことといたしました。